

外国人困窮者支援のいま
—北関東医療相談会月間レポート：2022年4月版—

■支援日誌

□4月4日「千葉県で初めての仮放免者に対する自立支援医療の適用！」

朗報です。

Sさんの精神の自立支援が認可されました。次週一緒に病院に行きます。

祝福をしてあげてください。千葉県では仮放免者は初めてだそうです。

□4月4日「子宮内膜症・難病疑いの仮放免者」

①本日、東京の済生会中央病院に子宮筋腫の疑いの女性を連れて行き、検査結果を聞いてきました。結論は、子宮筋腫ではなく内膜症でした。そのために生理の時に生理が重く大変になると言われました。当座、手術は無く貧血を止めることを目標に治療をすることになりました。

②先週の金曜日に茨城の病院に行き、腎臓の状態を聞いてきました。どうも難病らしいので先生に指定難病の可能性をうかがい、検査するにはいくらかかるか聞きました。当初、100万円との見積もりでしたが、当会が絡むことで60万円まで下がりました。自国の親と協議した所、半額までは出せると連絡があり、近々再度打ち合わせをします。二歩前進と言うところですか。

□4月5日「心臓に疾患のあるクルド人の子ども」

川口市のクルド人の心臓が悪い子供についても報告します。

症状は中等症程度の「発作性上室性頻拍」。症状が出た場合、薬で対処できるものですが、自分では止めることができない、と言われていています。先生との打合せでは、できるだけ早く手術をした方が良いと言われました。カテーテル手術で電気信号を送り込み治療するという方法です。

問題の費用は、無低の病院で、できれば100万円、赤十字病院であれば150万円程度だそうです。これは無料低額診療の病院の場合であればの話ですので、協力を得られるのであれば安くつきます。現在お願いしたところですが、企画というのか調整をしている段階です。

皆様、良いお祈りをしてください。

□4月6日「ご支援のお願い」

これほど沢山の仮放免者を支援しているのに大口、中口の助成金団体は支援がありません。私たちにぶら下がっているのは、医療費で100人、家賃64人(2ヶ月分)、食糧費は100人以上です。

去年はコロナバブルもあったのが無くなりました。一体これだけの人と金額を支援していけるのか不安です。

多くの人の善意によって支援をしてくださるをえません。来年に向けてようやく体が動き始めました。NPOの実情ですが、皆様の関心と支援をお待ちしています 🙏

□4月16日「子宮内膜症・盲腸の仮放免女性」

4月14日(水)、かねてから相談を受けていた仮放免者の女性が千葉県T病院で手術を受け無事終了しました。手術は子宮筋腫で長年大変な苦勞をしていました。当日になり腹痛を訴えて緊急に検査したところ盲腸とわかりました。手術は、午前の予定を午後からのことになり、終わったのは夜7時30分を過ぎていたとのこと。それでも一安心です。

費用については当会と夫の支援をうけてのこと。勿論1回では支払いは困難です。これから長い支払いに当会も伴走することになります。皆様におかれましても支援をお付き合いただけるとありがたく思います。できるだけ多くの方々に支援要請をお願いします。

[コロナ禍で困窮する仮放免者のいのちをまもる](#)

□4月20日「迫害で軟調となった南米人仮放免者・昨年度の支援実績」

①今日は、かねてからお伝えしている南米人の耳の手術日です。

在留特別許可がまだ認可されていません。難民申請2回目とのことですが、去年の8月から都内の病院で手術が可能か調べてきました。というのも30年前に母国でのクーデターによって虐殺された人々のことを父親が真実を語ったことによる迫害を受けたことによる暴行で耳に障害が残り、難聴となり耳鳴りが絶えない。確定診断となり手術となりました。

費用は、146万円と保険が無いと一般的には支払いができません。現時点で在留特別許可が出ていないのはそのまま支払いを行います。南米人のためにも支援を願います。

②昨年度の活動概要がまとまってきました。

医療費は1193万円、家賃支援820万円、食糧支援358万円、水道光熱費205万円と直接本人たちのところへは合計2576万円でした。

通訳謝金を入れると3000万円以上になります。尚、今期はこのような支援は現時点では望めません。支援金の多くを皆様方の御協力と関心によってなされます。よろしくお願ひ致します 🙏

□4月22日「心不全のガーナ人仮放免者」

本日は、越谷周辺に住むガーナ人女性のCT造影検査日。近くの独協大学病院にて10時30分から検査開始。単純な検査CTとおもいきやCT造影とわかり、1時間以上かかりました。診断結果は5月24日とのこと。心不全がかなりひどくこちらも費用がいくら掛かるかわかりません。次回の医師の説明が心配でなりません。

毎回、検査費用を払っているが、次回確定診断をすることで費用が明確になると思います。皆様の心からの支援をお待ちしています🙏

□4月23日「南米人仮放免者の退院」

皆様へ

南米出身の耳鳴りで悩まされていた男性が、今日退院しました。

本人から電話でとても快調で、良く聞こえると言っていました。30年間耳が聞こえず耳鳴りしていたのが、と驚きと喜びを伝えてきました。良い出来で安心しました。暫く安静にするともっとよくなるとのことでした。こちらも一緒に喜んでいたいと思います。

皆様には心より関心を持ち、応援していただいたことを感謝したいと思います。

これから費用がでますが、146万円と言われています。入管には在留特別申請を弁護士から提出しています。4月25日に入管に行き再度交渉したいと思います。保険があるのとならないのでは100万円以上違います。

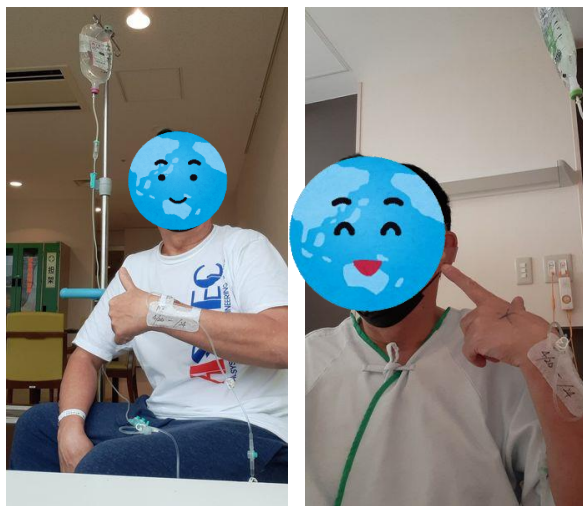
皆様の祈りと励ましと関心がますます必要になります。今回は彼が皆様への感謝として写真を送っていただきました。

ご復活の出来事です。

彼の耳に触れてみなさい、触らずに信じる者は幸いである。これで何人目の治療なのか覚えていません。

追加のお話、ブドウ園の農夫、30年間ずーっと自分が呼ばれるのを待つ人のひたすら応えてくれるまで待つ、そして神の慈しみによってその日が来たのです。

一緒に喜んであげてください。



注)「支援日誌」は長澤正隆 Facebook を基に修正加筆を行った。

◆支援状況

◇個別支援（アウトリーチ支援）

- ・アミーゴスのメンバーで個別支援。
相談支援や医療支援、入管関係支援などを行う。

◇食料・生活必需品等の配布

- ・食料（米、おかず、野菜、調味料など） 107 件
- ・衛生用品（マスク、石鹸、アルコール消毒液） 256 件 ※偶数月に2か月分送付

◇住居支援

- ①群馬県高崎市に「めぐみアパート」3部屋借り上げ。
仮放免のフィリピン人2人が入居中。
- ②埼玉県杉戸町に「すぎとの家」1軒借り上げ。
現在、空室。

編集：大澤優真